

令和2年度シラバス

科目名等	単位数	教科書名	副教材等
美術 I	2	高校生の美術 1	なし

【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の幅広い創造活動を通して、美術を愛好する心情を育てる。 ・美的体験を豊かにし、感性を高め創造的な表現能力を養い、伸長させる。 ・造形美術の美しさを感じ取る鑑賞能力を涵養する。
【学習上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・美術1で使用する油彩画の道具、消耗品類は学校で一括購入する。 ・作品制作は、真摯で意欲的創造的なものを目指し、提出期限を厳守すること。
【評価の指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として学期に1課題を設定、作品を審査し評価する。造形的な巧拙もみるが意欲的で、制作意図を明確にした個性溢れる作品を期待したい。 ・一般的な授業態度(時間厳守、意欲的真摯な取組)を加味して総合的に評価する。

月	進度(単元)	主な学習内容	副教材等
一 学 期 ・ 5 中 間	4 月 絵画 (自画像)	<ul style="list-style-type: none"> <鉛筆デッサンによる自画像の制作> ○鉛筆デッサンの基礎を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の特性を生かした明暗の描写 ・骨格を意識した形の把握 ・効果的な構図の取り方 ○自画像の意味について学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自画像の代表作(図版) (デューラー・レンブラント 龔光・ゴッホ等) ・自画像についてのプリント
一 学 期 ・ 7 期 末	6 月 デザイン 鑑賞・講評	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な背景を知る ・自分自身の心の内と対話する ○互いに鑑賞し、講評を行う。 <自分のマークの制作> ○イメージした形を的確に表現するプロセスを学ぶ ・形の単純化、色の効果、構成について 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインについてのプリント ・アクリル絵の具
二 学 期 ・ 10 中 間	9 月 絵画 (油彩による静物画)	<ul style="list-style-type: none"> <油彩による静物画の制作> ○油彩画の歴史について学ぶ ○油彩画の基本的な制作方法について学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・正しいデッサンの取り方 ・効果的な構図について ・様々な混色方法について 	<ul style="list-style-type: none"> ・油彩画の歴史のプリント 参考作品 (ヤンファンエイク・ボッチ チェリ等) ・静物画の参考作品 (シャルダン・ゴッホ等) ・油彩絵具
二 学 期 ・ 12 期 末	11 月 鑑賞・講評	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な表現方法を知り、工夫する力を養う <ul style="list-style-type: none"> ・マチエール、テクスチャーの研究 ・筆やナイフの使い方の工夫 ○互いに鑑賞し、講評を行う 	
学 年 末	1 月 2 月 3 月 工芸(陶芸)	<ul style="list-style-type: none"> <マグカップの制作> ○焼き物の歴史を学ぶ ○基本的な陶芸の基礎を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で使用する物の機能的で美しい形を考える ・ひも作りについて学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・焼き物の歴史プリント ・陶芸用粘土

【備考】

美術は、概ね学期に一課題を設定し、密度の高い制作を行う。完成後は作品の講評会を通して制作意図に添った表現であったか考察するとともに鑑賞能力を高める。制作前には美術概論や美術史等の講義が加わる。